

自衛隊に興味を持った



天幕展張体験



ガスタービン・シミュレーター体験

神奈川地方協力本部溝の口募集案内所（所長 上野3陸尉）は、1月29日（木）、陸上自衛隊第4施設群（座間駐屯地）、1月30日（金）、海上自衛隊第2術科学校において、川崎市宮前区平中学校の「総合的な学習の時間」を支援した。

第4施設群では、施設や車両見学を始め、ラップ体験、防弾チョッキの試着、天幕展張体験などが、第2術科学校では、基本教練やガスタービン・シミュレーター体験が行われ、生徒からは、「自衛隊の訓練に一層深く興味を持った」、「自衛隊の食事は、とてもおいしかった」などの声が多数聞かれた。

溝の口募集案内所は、「今後も、積極的に「総合的な学習の時間」を支援し、厳しい募集環境を克服して目標達成に繋げていく」としている。



第2術科学校長と記念撮影

第2術科学校で充実の「総合的な学習の時間」



ガスタービンエンジン操縦体験



修了式

神奈川地方協力本部横浜中央募集案内所（所長 竹崎1陸尉）は、2月3日（火）、海上自衛隊第2術科学校において、南が丘中学校（2学年13名）の「総合的な学習の時間」を支援した。

第2術科学校の概要説明を受けた後、基本教練を体験。初めはぎこちない動作であったが徐々に慣れ、元氣澁刺とした動作ができるようになった。その後、護衛艦等に搭載されているガスタービンエンジンの操縦を体験し、大きな音や匂いに驚いていた。最後に修了式が行われ、修了証と記念メダルが手渡されると生徒達は、現役自衛官に劣らぬ大きな声で、「ありがとうございました」と挨拶し、「総合的な学習の時間」を終了した。

横浜中央募集案内所は、「今後も、「総合的な学習の時間」を通じて、より多くの学生に自衛隊を知ってもらい、将来の職業選択肢のひとつとなるよう、積極的に支援していく」としている。